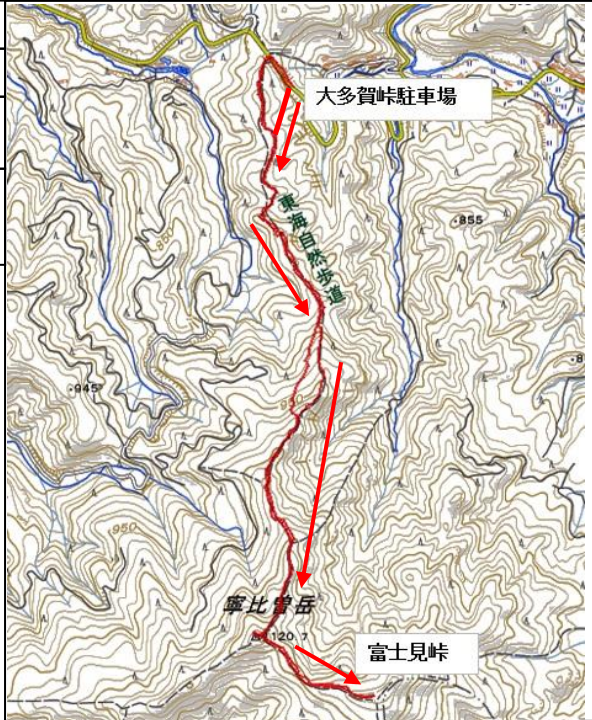


04月度 <b>例会</b> 個人 <b>山行報告書</b>		報告者	津田廣一	参加メンバー	CL 藤田勝啓 SL 津田廣一 竹内幹雄、油井武、町田修、 尾崎寿則、杉浦和重、金子清、 浅田由徳、塚本英吾、上田正博、 天野広、井出敦夫、井出敏子
		報告日	4月21日		
山城	奥三河	山行日	2023年04月13日(木)		
山名	寧比曾岳 1121m				
山行目的	例会 春登山、親睦	コースタイム (天候: 天気図記号)			

配布先  
総会参加数  
山行: 1  
リーダー  
原紙:  
会事務局



4/13 曇り  
07:00 刈谷発  
08:30 大多賀峠P  
08:45 大多賀峠P 発  
09:10 休憩所1本(11°C; 5分)  
09:50 休憩所1本(7°C; 10分)  
10:30 寧比曾岳山頂(9°C)  
(10:30~11:05)  
11:20 富士見台 (5分)  
11:40 寧比曾山頂 (小休止)  
12:00 休憩所1本 (5分)  
12:30 休憩所1本 (5分)  
13:00 大多賀峠P 着  
  
3台の車で移動  
ミツマタ群生地見学  
14:00 大多賀峠P  
14:15 現地解散  
16:00 刈谷着



〈山行報告〉刈谷7時発から、現地8:30集合と推測して車を走らせる。8:25に大多賀峠Pに到着すると、参加メンバーは全員集まっていた。「おはようございます」と、挨拶を交わして登山準備。藤田CLの指示で恒例のラジオ体操をして8:45に駐車場を出発。大多賀峠登山口へ向かわず、直接、斜面の登山道に取りかかる。ストックと足を踏ん張り、高度を稼ぐ。いきなりの急登だが、皆、口も軽く元気だ。20分ほどで正規の登山道上の尾根道に出る。町田が、帰りの目印の枝を岩の上に置いた(Good idea!だ)。整備された自然歩道を快調に歩く。30分弱で、ベンチのある休憩所へ到着し1本。尾根道のアップダウンを冗談も交えて、楽しく歩く。暑くも寒くもなく登山には丁度よい気温だ。30分ぐらい歩いて次の休憩所に到着。いいペースである。最後の急登を登りきるや、3ピッチで寧比曾山頂へ。春霞と黄砂のせいで、眺望は今一つだ(春の里山の宿命か?仕方ない)。写真を撮り、昼飯を食べて山頂でゆっくりする。休憩後、富士見峠へ向かう。富士見峠だが、富士山見えず。残念! 寧比曾へ引き返し、小休止後下山開始。登り時の休憩場所で休憩し、13時に駐車場へ下山。3台の車へ便乗してミツマタ群生地へ向かう。ゲートからは歩きた。15分ぐらいの林道歩き。登り道、登山よりもきついかも?(笑) ミツマタ群生地(トンネル)を見て、皆、驚嘆! 1hで駐車場へ引き返し、解散式の後、帰路についた。いい1日が終了した。



寧比曾岳山頂にて

確認  
(リーダー)  
藤田  
23/04/22  
作成  
(報告者)  
津田  
23/04/21

〈リーダー所見〉  
安全登山が予定通り出来たので参加メンバーに感謝します。  
登山道にはスマレ、ネコノメソウ、ショウジョウバカマが咲き  
ミツバツツジ、ヤマザクラが目を楽しませてくださいました。  
2週間前の偵察時に八分咲きだったミツマタの群生も変わらず  
咲き誇っていたので、花たちにも感謝です。